



あたらしい本のご案内

9月

子ども・YA(中・高生向け)

| | |
|---|--|
| <p>へんてこ はやくちことば E アラ</p> <p>ぼくは でんしゃや えきのマークだよ。いつもだまっているけれど、たまには たくさんしゃべりたい！いくよ！へんてこ はやくちことば！マークへの興味^{きょうみ}がわく絵本^{えほん}。 (新井洋行作^{あらい ひろゆきやく} 小峰書店^{こみねしょてん})</p> | <p>あわ あわ わあい！ E ソニ</p> <p>ザッブーン！ もぐれ もぐれ。あわ あわ わあい！ ちょうちょになったり、イルカになって、わたしはおよぐ！ おひさまと水しぶきがまぶしい絵本。 (ソニア・サンチェス^え 絵 ほるぷ出版^{しゅつぱん})</p> |
| <p>うちゅうしょく かん 宇宙食^{うちゅうしょく}になったサバ缶^{かん} K667 コ</p> <p>「おいし〜！」と、宇宙飛行士^{うちゅうひこうし}の野口聡一^{のぐちそういち}さんが宇宙から食レポしたサバ缶をつくったのは高校生^{こうこうせい}だった！ 高校生たちと、彼らをささえてきた大人^{おとな}たちの14年間の物語^{ものがたり}。 (小坂康之^{こさかやすゆき}著 小学館^{しょうがくかん})</p> | <p>きいろ りゅう 黄色い竜^{きいろ りゅう} K913 ム</p> <p>クリオは、自然^{しぜん}ゆたかな町^{まち}でくらす小学生^{しょうがくせい}。夏の^{なつ}ある夜^{よる}、おじいちゃんがむかし、釣り^{つり}にがしたという大きなコイ^{おおい}の話^{はなし}を聞く。秋^{あき}になり、ひとり^{ひとり}で湖^{みずうみ}にやってきたクリオは…。 (村上康成^{むらかみやすなり}作 徳間書店^{とくましょてん})</p> |
| <p>かんじ にほんご 漢字が日本語になるまで K811 エ</p> <p>中国^{ちゅうごく}から日本^{にほん}に伝わった漢字^{かんじ}は、日本語^{にほんご}にとってかなり不便^{ふべん}な文字^{もじ}だった。日本人^{にほんじん}は漢字^{かんじ}をどう工夫^{くふう}し使いこなしてきたのか、漢字^{かんじ}が日本語^{にほんご}になるまでを解説^{かいせつ}する。 (円満字^{えんまんじ} 二郎^{じろう}著 筑摩書房^{ちくましょぼう})</p> | <p>だい ち こ マンガ 大地の子 1・2 726.1ヤ</p> <p>戦後^{せんご}、中国^{ちゅうごく}にとり残された日本^{にほん}の少年^{しょうねん}・一心^{いしん}は、スパイ^{ようぎ}の容疑^{ようぎ}をかけられ、労働改造所^{ろうどうかいぞうしょ}へ入れられてしまい…。小説^{しょうせつ}『大地の子^{だいち こ}』をマンガ化^か。物語^{ものがたり}の背景^{はいけい}がわかる解説^{かいせつ}つき。 (山崎豊子^{やまざきとよ}原作 文藝春秋^{ぶんげいしゅんしゅう})</p> |

一般

| | |
|--|---|
| <p>小説 幻告 F イガ</p> <p>裁判所書記官^{さいばんしょしょくぎ}の傑^{すぐる}(すぐる)が法廷^{はうてい}で意識^{いしき}を失い目覚めると、そこは5年前^{ごねん}、父親^{ちち}が有罪判決^{ゆうざいはんけつ}を受けた裁判^{さいばん}のさなか。冤罪^{えんざい}の可能性^{かんのせい}に気がついた傑^{すぐる}は、タイムリープ^{たいむりーぷ}を繰り返しながら真相^{しんじやう}を探り始めるが…。 (五十嵐^{いそ} 律人^{りつじん}著 講談社^{こうだんしゃ})</p> | <p>小説 見習医ワトソンの追及 F カブ</p> <p>腹部^{ふぶ}を刺された女性^{にょせい}が緊急搬送^{きんぎょはんそう}された。懸命^{けんめい}な治療^{ちりやう}で一命^{いちめい}をとりとめたが、術後^{じゆご}ありえない速さ^{すみ}で容態^{ようたい}が急変^{きゅうへん}、命^{いのち}を落としてしまう。不審^{ふしん}に思った内科医^{ないか}の家入^{けいじ}は、刑事^{けいじ}の協力^{きやうりき}を得て調査^{ていさ}を開始^{かいし}する。 (錦木^{にしき} 蓮^{れん}著 講談社^{こうだんしゃ})</p> |
| <p>小説 空を駆ける F ガジ</p> <p>戊辰戦争^{ごしんせんそう}を生き延びた孤独^{こどく}な少女^{しょうじよ}は、横浜^{よこはま}の女学校^{にょがく}「フェリス・セミナリー」と出会い、女性^{にょせい}の自立^{じりつ}と子どもの幸せ^{しあわせ}を希求^{ききう}する。名作^{めいさく}児童文学^{じどうぶんがく}『小公子^{せうこうし}』の翻訳家^{ほんやくしや}・若松^{わかし} 賤子^{せんし}の31年の生涯^{しゆがい}を描く。 (梶^{かじ} よう子^{ようし}著 集英社^{しゆえいしゃ})</p> | <p>小説 きときと夫婦旅 F ヤス</p> <p>家出した中3^{ちゅうさん}の息子^こを連れ戻しにきた夫婦^{ふうふ}。だが息子は帰らないといい、しばらく富山^{とみやま}に滞在^{たざい}するはめに…。鉄道オタク^{てつどうおたく}の夫^{おとこ}に不満^{ふまん}を募らせる妻^{つま}。富山県内^{とみやまけんうち}の観光名所^{くわんかんめいじよ}を舞台^{ぶたい}に描く、夫婦^{ふうふ}のドタバタロードノベル。 (椰月^{やづき} 美智子^{みちこ}著 双葉社^{ふたばしゃ})</p> |

| 書名 | 著者名 | ジャンル | ラベル |
|-----------------------|--------|------|--------|
| あなたのなつかしい一冊 | 池澤 夏樹 | 書評 | 019.97 |
| 共働きのすごい対話術 | あつた ゆか | 社会 | 367.37 |
| 読むだけで身につく化学千夜一夜物語 | 太田 博道 | 化学 | 430.4オ |
| 信州おやき大百科 見くらべ味くらべ店くらべ | 小出 陽子 | 料理 | 596.2コ |